National

P型3級受信機 内器（音声警報機能付・共用部

●正しい施工をしていただくため、必ずお読みください。
●施工するには電気工事士、消防設備士（甲種第4類）の資格が必要です。
●施工後、必ず施主様に商品説明をしていただき、取扱説明書と施工説明書をお渡しください。
●万一、施工説明書にしたがわず施工された場合は責任を負い兼ねることがあります。
●火災などによる損害については責任を負い兼ねますのでご了承ください。

付属品	●施工説明書（本紙）……1枚 ●取扱説明書……1冊 ●掲示板（自動火災報知設備の取り扱いについて）…1枚 ●取り付け用部品 工事用（終端抵抗器など）…1セット ●予備品 保管用（ヒューズなど）……1セット ●電　池……1コ

安全上のご注意

ケガや事故防止のため、以下のことを必ずお守りください。

⚠警告

●ぬれた手で受信機をさわったり、水をつけたり、水をかけたりしないでください。感電・故障の原因になります。
●電池は必ず接続してください。電池が接続されていないと停電時に機能しません。
●ＡＣ100Ｖ専用です。接続まえに入力電圧の確認をしてください。それ以外の電圧では故障の原因になります。
●受信機は施工説明書にしたがい、その質量に十分耐えるようにしっかりと取り付けてください。安易な取り付けは脱落によりケガの原因になります。
●AC100V端子・外部スピーカー端子の保護カバーは工事終了後、必ず取り付けてください。感電のおそれがあります。
●P型3級受信機と接続する住棟受信機の回線は「非蓄積」側に設定してください。火災時、正常な火災警報動作をしません。

⚠注意

●アースの接続は確実に行ってください。使用時や漏電のときに感電するおそれがあります。

施工上のご注意

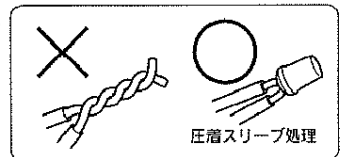
●この商品は 屋内専用 です。屋外・屋側には設置しないでください。
●接続機器については、その商品に付属の説明書をよくお読みください。

■次のような場所には設置しないでください。

（誤動作や故障の原因となります。）

●直射日光の当たる場所
●水滴、蒸気、ほこりなどがかかる場所
●周囲に操作上支障となる障害物のある場所
●衝撃、振動などの影響を受ける場所

■施工時のご注意

●電線接続部は圧着スリーブなどで行い、絶縁処理をしてください。
（電線をよじっただけでは、長期使用中に電線表面が酸化接触不良をおこし、誤報の原因となります。）

●工事・施工時のゴミなどは機器の中に残さないでください。ショートや故障の原因になります。
●接続方法に示す機器以外の機器を接続する場合には、当社へご相談ください。不適切な接続は誤作動・故障の原因となります。
●アースは必ず接続してください。
（D種（第3種）接地相当以上（100Ω以下）としてください。）
●感知器配線の終端に終端抵抗器（3kΩ 1W）（付属）を取り付けてください。
また受信機の交換時は、終端抵抗器をご確認ください。
指定以外の終端抵抗器は使用しないでください。
●蓄積型感知器および蓄積型中継器・火災表示灯（BV9401K・BV9411K）は接続できません。
●遠隔試験対応の感知器は接続できません。

機能設定

❶火災信号の蓄積・非蓄積の設定方法

●蓄積解除したい場合は、蓄積切替スイッチを「非蓄積」側に設定してください。

出荷時設定
「蓄積」側

❷トラブル音響の鳴動・非鳴動の設定方法

●トラブル灯が点滅したことを、音響にて知らせる機能です。トラブル音響を 鳴動させる 場合は、本体内部のトラブル音響設定スイッチを 「鳴動」側 に設定してください。

出荷時設定
「非鳴動」側 （トラブル音響鳴動なし）

❸火災確認時間の設定方法

●一定時間、感知器作動警報したあと、火災確認警報に切り換える場合、火災確認時間設定スイッチで火災確認時間（0秒・約2分・約3分30秒・約5分）の設定ができます。

出荷時設定
ON / OFF 1 2 火災確認時間：約２分

火災確認時間設定スイッチの位置	ON OFF 1 2	ON OFF 1 2	ON OFF 1 2	ON OFF 1 2
火災確認時間	0秒	約2分	約3分30秒	約5分

注 ●火災確認時間を変更するときは、電池のコネクタを抜いて、交流電源スイッチを「切」側にして設定してください。
電源投入後に、設定しても変更されません。

❶蓄積切替スイッチ

●右図は蓄積に設定した場合を示します。

❷トラブル音響設定スイッチ

●右図は非鳴動に設定した場合を示します。

❸火災確認時間設定スイッチ

●右図は音声警報時間を約２分に設定した場合を示します。

用）BGH1301H 屋内専用 保管用　施工説明書

取付方法

露出取付の場合

1. 取付位置を決め、取付用プラグを打ち込む。
   - プラグボルト（M5）（市販品）の打ち込みと、配線を引き込む位置は右記の取付寸法図のとおりです。
   - 中央上部のプラグボルトは露出ボックス取り付け時の位置決め用としてご利用ください。
   - 露出ボックスの底上げは12mmです。

注
- 本体の操作スイッチ部が、床面から800mm～1500mmの位置になるように取り付けてください。

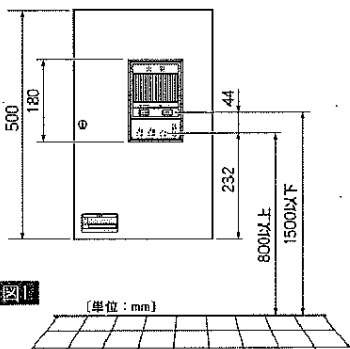



図1

2. 入線を行う。
3. 上下を間違わないよう露出ボックス3K型（BV8353H）（別売）内の表示マーク（上⇧）が上にくるように取り付る。
   注 ●床面に対して、垂直になるように取り付けてください。傾斜角度が大きいと受信機の扉の開き方が悪くなる場合があります。
4. 露出ボックス3K型（BV8353H）（別売）に取り付けネジ（上部2ヵ所）（M5×18）を仮り止めして、本体の扉をあけ、A部を露出ボックスのB部に引っ掛ける。
5. 取り付けネジ（下部2ヵ所）を仮止めする。
   - 本体の取付ネジ穴4ヵ所は、すべてダルマ穴となっていますので、露出ボックス側面に本体枠側面を合わせながら取り付けネジ（4ヵ所）をしめつけてください。
6. 配線する。 ※「接続方法」（裏面）参照。
   注 ●AC100V配線・外部スピーカー配線を接続する場合、保護カバーをはずして接続してください。
   ●結線後は、AC100V端子・外部スピーカー端子の保護カバーを必ず元に戻してください。
7. 交流電源スイッチを「入」側にする。
8. 電池のコネクタを取り付ける。
9. 本体の扉をしめる。
   （取扱説明書、施工説明書は本体内部の説明書ホルダーに入れてください。）

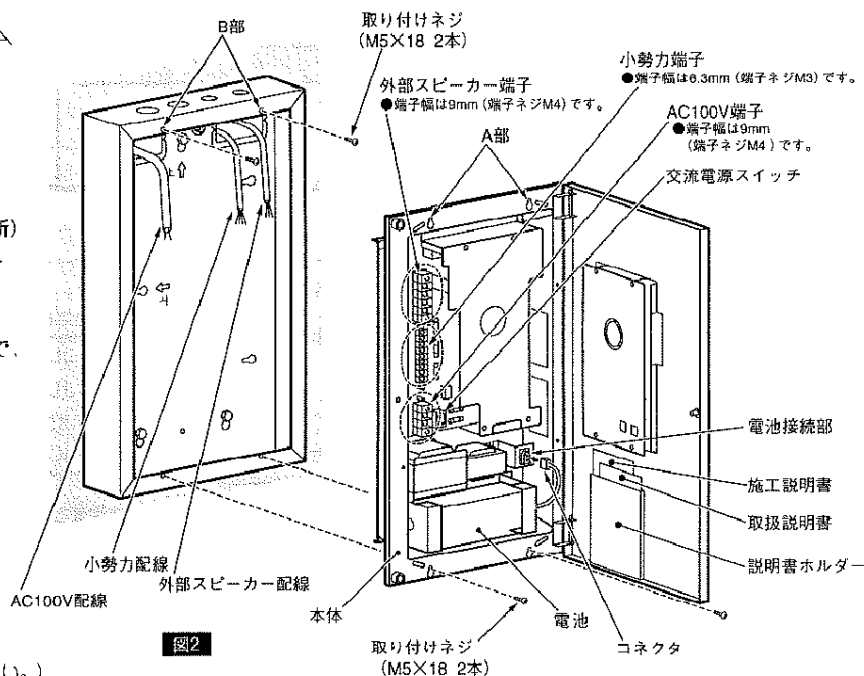
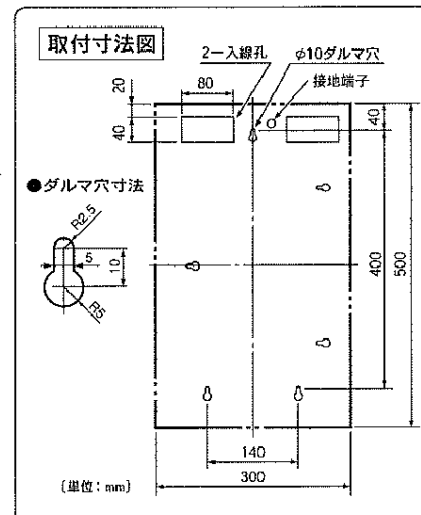
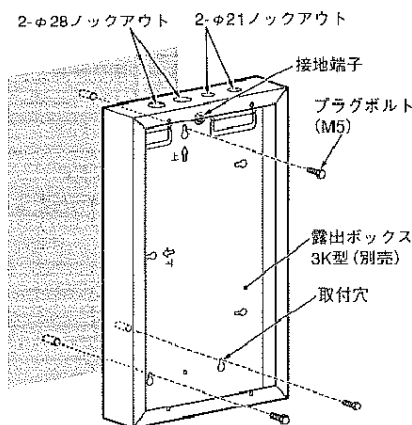
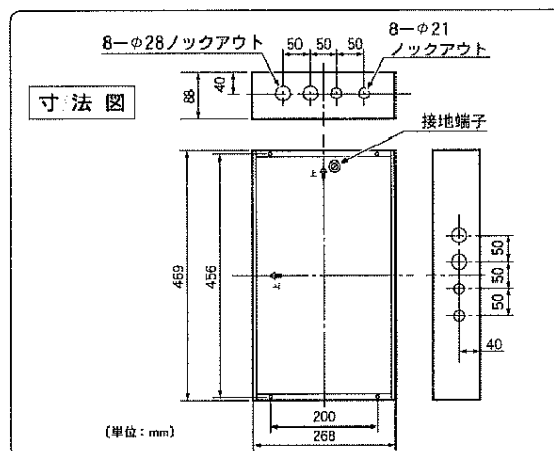



図2

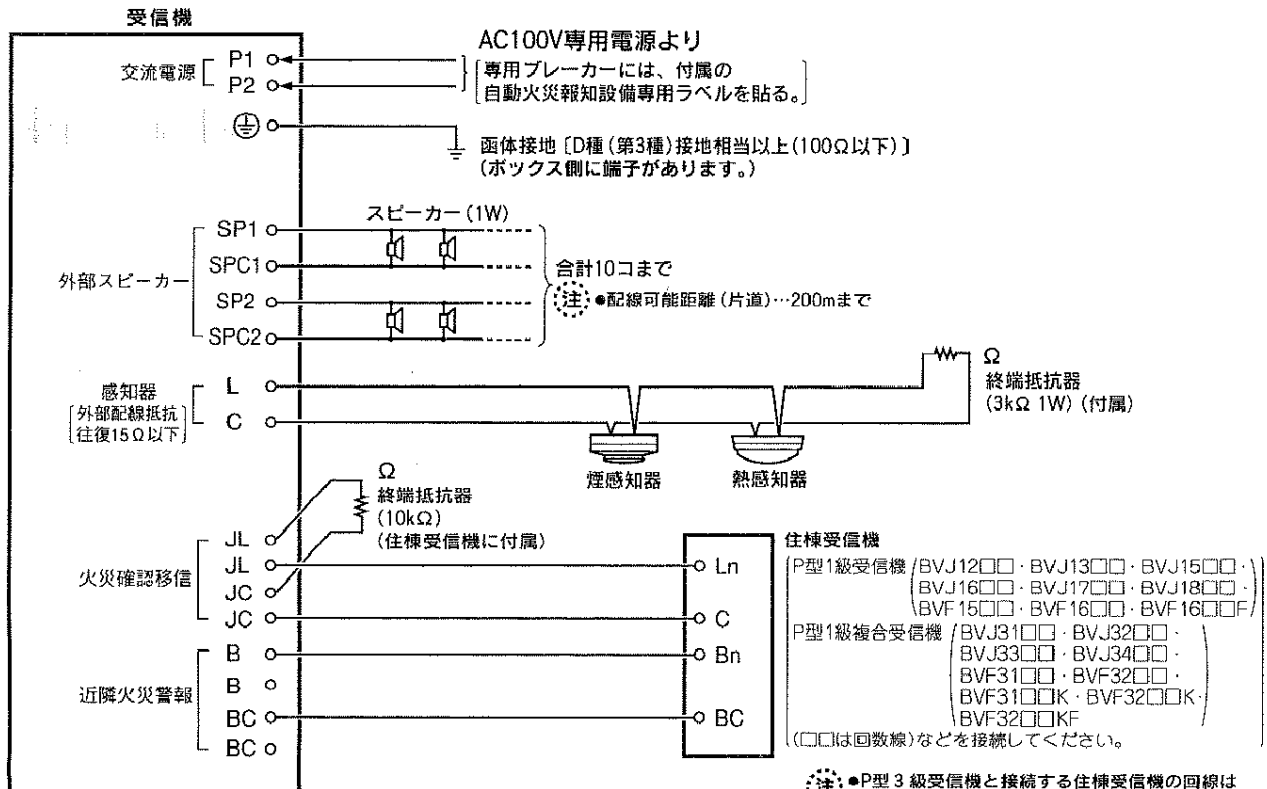
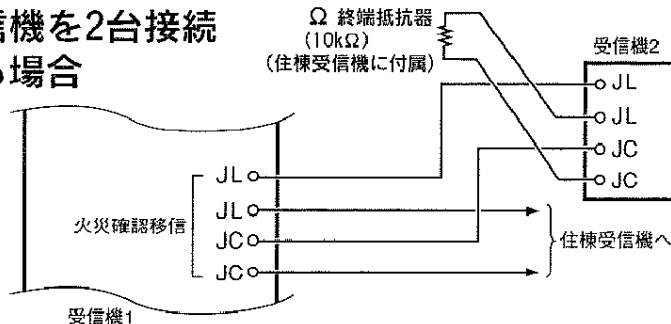
埋込取付の場合

注 ●本体の操作スイッチ部が床面から800mm～1500mmの位置になるように取り付けてください。 図1参照

1. 入線を行う。
2. 上下を間違わないよう埋込ボックス3K型（BV8343）（別売）内の表示マーク（上⇧）が上にくるように取り付ける。
   注 ●床面に対して、垂直になるように取り付けてください。傾斜角度が大きいと受信機の扉の開き方が悪くなる場合があります。
3. 埋込ボックス3K型（BV8343）（別売）に付属の取り付けネジ（M5×40）（上部2ヵ所）を取り付ける。 図2参照
   ※その他の取付方法は、露出取付と同じです。

接続方法

注 ●電線は、感知器配線ø0.9～ø1.2・外部スピーカー配線（耐熱電線）ø1.2～ø1.6・住棟受信機の配線ø0.9～ø1.6を使用してください。

⚠警告

- ●AC100V配線の端子ネジは確実にしめつけてください。感電や発熱・故障の原因になります。
- ●電線のしめつけが不十分な場合、誤動作・不動作の原因になりますので確実にしめつけてください。
- ●電源（AC100V）を切り、電池を取りはずした状態で施工してください。活線工事は感電・故障の原因となります。

注 ●P型3級受信機と接続する住棟受信機の回線は「非蓄積」側に設定してください。
（設定方法は住棟受信機に付属の施工説明書を参照してください。）

■接続個数

品 名	品 番	接続個数
感 知 器	熱（接点式）	無制限
	煙（BGH45028K）	10コまで
スピーカー（認定品）	1W	10コまで

掲示板（自動火災報知設備の取り扱いについて）について

●受信機の近くに掲示ください。

施工後の確認方法

●受信機は、下記の試験をしてください。

1. 火災試験……………取扱説明書25～26ページ参照
2. 蓄積時間測定試験…取扱説明書27ページ参照
3. 電池試験……………取扱説明書28ページ参照

●接続した感知器は下記の動作試験を行ってください。

注 ●詳細は、各試験器に付属の取扱説明書を参照してください。

1. 熱感知器（差動式・定温式スポット型）の場合は、加熱試験器で加熱試験をしてください。
2. 煙感知器（光電式スポット型）の場合は、加煙試験器で加煙試験をしてください。

〔〒571-8686〕大阪府門真市門真1048 松下電工

8A2 J42 00001